

□□村の風は強いのか？

□□村には、たくさんの風力発電用の風車がありました。全部で44もの風車があるそうですが、こんなにたくさんの風車ができたとすることは、□□村は風が風力発電に向いているということでしょうか。そこで、□□村の風の強さなどについてしらべてみました。

1 □□村の毎日の風の強さ

□□村は年間を通じてヤマセ（東風）がふき、また西風もふくために、安定して風力発電を行えるかんきょうにあるといわれています。

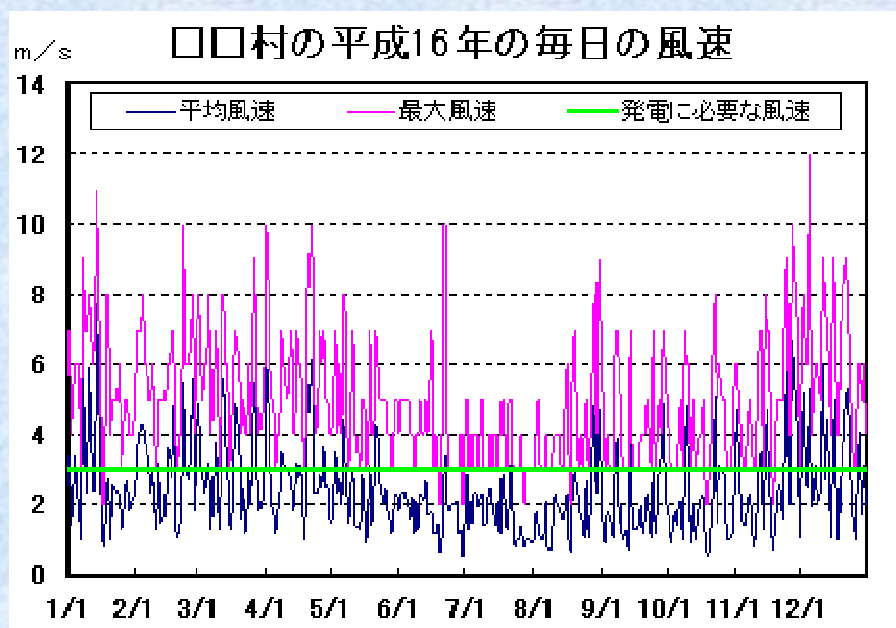
年間を通じて風がふいても、風が弱ければ、風車を回すことができません。□□村の平成16年の平きん風速は毎秒2.4メートルですが、風力発電のためには、毎秒3メートル以上の風がひつようなようです。

平成16年の□□村の毎日の風の様子をしらべてみたところ、平きん風速は毎秒3メートルをこえる日は多くはないものの、最大風速は毎秒3メートルをこえる日がほとんどで、一日中、風車が回っていることは少ないでしょうが、風力発電ができない日は1年間のうち何日もありません。

まず、テーマを選（えら）んだ理由、きっかけなどをまとめよう。

気温や風速などの気象データは、気象庁（きしようちょう）「[気象統計情報](#)（きしようちょうけいじょうほう）」で調べることができるよ。

でも、調べることができるのは「観測地点（かんそくちてん）」だけだから、すべての市町村のデータあるわけではない。



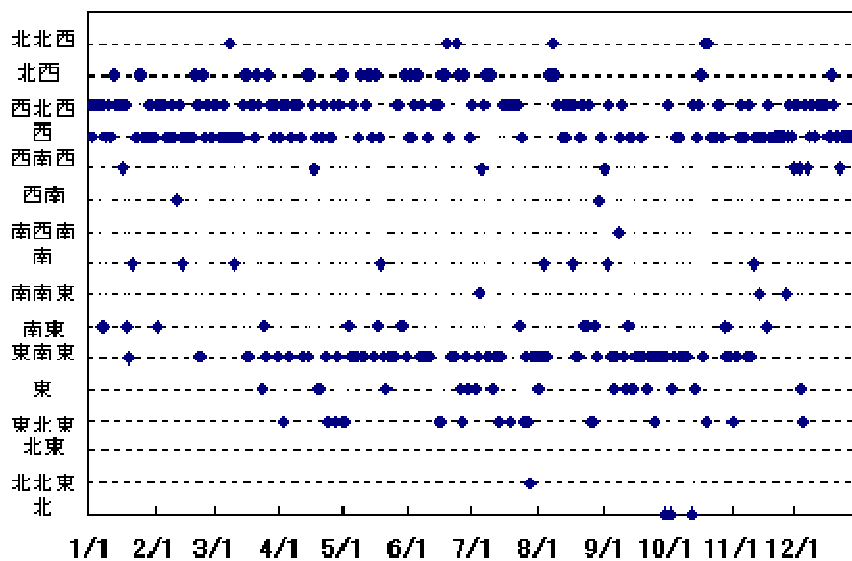
2 □□村ではヤマセ（東風）と西風どちらが多いの？

□□村の風は、3月中ごろから11月中ごろはヤマセ（東風）がふきますが、冬の間は、西風が多くなっています。でも、春から秋にも西風がふく日があるので、ヤマセ（東風）よりも西風のほうが多いようです。

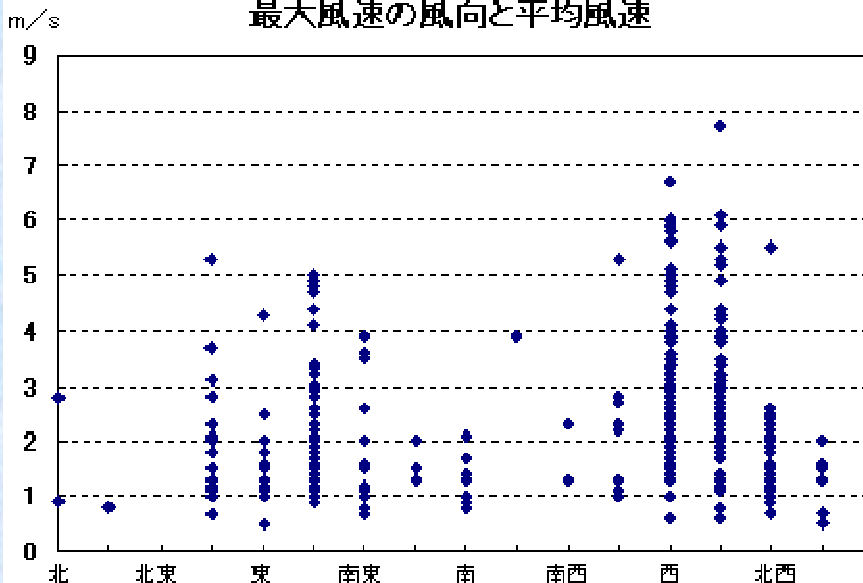
また、ヤマセ（東風）と西風の風の強さをくらべてみると、西風のほうが、より強くふくことがあるようです。

平均風速（へいきんふうそく）、最大風速、最大風速の風向も、気象庁（きしょうちょう）「[気象統計情報（きしょうとうけいじょうほう）](#)」で調べることができる。

□□村の平成16年の毎日の最大風速の風向



最大風速の風向と平均風速



3 調べてみてわかったこと

□□村では、強いヤマセ（東風）の日が多いと思っていましたが、反対に、西風の日の方が多く、西風の方が風が強いことがあることがわかって、びっくりしました。

青森県には、□□村のほかにもたくさんの風力発電用の風車があって、日本一の発電りょうだそうです。さい近、テレビで「チーム・マイナス6%」といているのをみかけますが、「チーム・マイナス6%」とは、日本が世界にやくそくした温室こうかガスはいしゅつりょうを6%へらすための国みん的プロジェクトなのだそうです。風力発電は地球おんだんかぼうしのためのクリーンなエネルギーとして注目されていますが、わたしたちにもできることを行動にうつしていきたいと思います。

●ヒント

気象庁（きしょうちょう）「[気象統計情報（きしょうとうけいじょうほう）](#)」では、観測地点（かんそくちてん）によっては1961年（昭和36年）からのデータを調べることができる。

気温や風のデータだけを使うのではなく、たとえば、風向きと気温の関係（かんけい）などを調べてみたり、日本海側（にほんかいがわ）と太平洋側（たいへいようがわ）の気象（きしょう）の違（ちが）いを気象（きしょう）データを使って調べてみることもできるよ。

また、気温とお店での売上げを比（くら）べてみても、いろんなことがわかってくるよ。（お店の売上げは「[商業販売統計（しやうぎやうはんばいとうけい）](#)」でわかるよ）

最後に感想などをまとめよう。

青森県の日本一のデータは、[青森県統計（とうけい）データランドの「ピカイチデータ 数字で読む青森県」](#)でしらべられるよ。